



ドクター板東の メディカルリサーチ

Vol. 55

～経済も 医学も共に 伸びていく～

<http://hb8.seikyou.ne.jp/home/pianomed/>

医学の学会は春から多くなる。最近とみに参加人が増え、各学会の開催地は大都市に限られてきている。先日、第53回日本糖尿病学会年次学術集会が行われた。場所は岡山市。当地では、1万人という過去最大の学会と大きなニュースに。今回は医学や岡山のトピックに触れたい。

糖尿病は世界の病気

糖尿病は国際的な病気となつた。成人の約5~6%に相当する約2.5億人が患つていて。痛みがないので自覚が難しく、10秒に1人が糖尿病で命を落としているという。

特に徳島県は、糖尿病の死亡率が全国でワースト記録を継続中だ。御隣の中国でも問題となつていて、人が糖尿病で命を落としている。そのため、県と徳島大学が協力し、医療観光の企画がすでに進行中である。

まず、皆様に理解してほしい大切なポイントを図1に示した。食事と運動のバランスが崩れて、肥満+3高、すなわち、高血糖、高

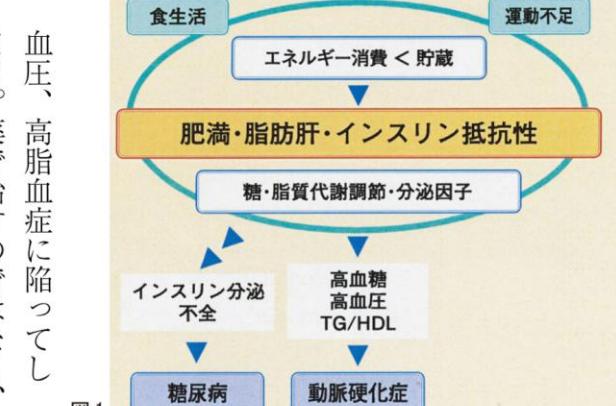


図1

糖尿病とは、あくまで自分が理解して実践せねばならない病気である。ゲーム

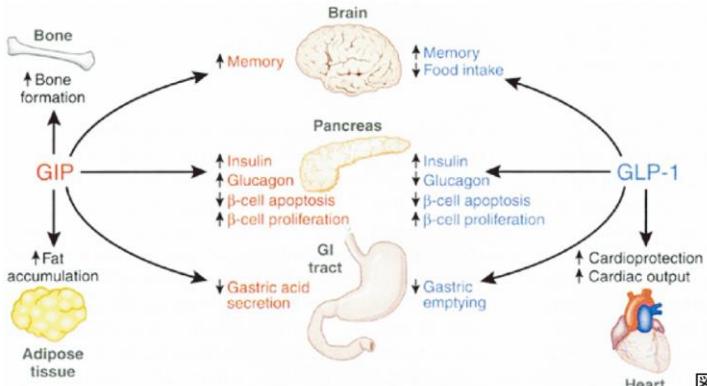
血压、高脂血症に陥ってしまう。薬で治すのではなく、基本的な生活習慣を、根本から是正する必要がある。学問に王道がないのと同じように、楽をして直す妙薬は存在しない。

お馴染みの会社から、医療用ソフトも開発された(図2)。一人でも、家族や仲間とでも、楽しく学ぶことができれば、それでよいだろう。

研究のトピックス

引き続いて、研究のトピックスを紹介したい。糖尿病の研究が進むと、様々なホルモンがいろいろな臓器で複雑に絡みあつていていることが明らかに(図3)。物事は単一ではなく、常にマルチファクターで考えねばならない。

図3



諸外国では、多くの専門施設による大規模な臨床研究が行われ、その結果がグローバルスタンダード(世界標準)となる。我が国でもようやく、数千人規模の多施設研究が進んできた。今後もさらなる研究の成果が期待される(図4)。

なお、患者にとつて朗報が。インターネットなどIT(情報技術)を活用する時代が到来した。つまり、必要時に検査を行う病院との間で、情報のやり取りがスムーズとなる。

J-DOIT3 研究計画の概要	
対象	高血圧または脂質代謝異常のある2型糖尿病(45~69歳) $HbA_1c \geq 6.5\%$ (n=3,000 初発予防70%、再発予防30%) → n=3,338
1次エンドポイント	死亡、心筋梗塞または脳卒中(3年で30%の減少が目標)
2次エンドポイント	腎症の発症・増悪、CABG、PCIまたは下肢切断、網膜症の発症・増悪
試験実施期間	登録期間1年、追跡期間は登録終了後3年 → 登録期間2.5年、追跡期間は登録終了後4年
治療目標	強化療法群(n=1,500) 従来治療群(n=1,500)
血糖	$HbA_1c < 6.5\%$ (TZD誘導ベース)
血圧	$< 120 / 75 \text{ mmHg}$ (ARB/ACEベース)
脂質	$LDL-C < 80 \text{ mg/dL}$ (LDL-C < 70 mg/dL) (ストロングスタチンベース)
Clinicaltrials.gov identifier	NCT00300976
(※虚血性心疾患の既往のある場合の目標値)	

(*H22年1月に変更されている)

(#虚血性心疾患の既往のある場合の目標値)

香川県のプロジェクトを

図5に示した。今後、地域医療の問題解決に役だっていくだろう。

岡山駅は凄い

糖尿病学会は駅周辺で

20以上の会場で開かれた

(図6、7)。ここで、メリットとデメリットを考えみたい。もし、駅から離れた国際会議場で開催した場合、会場内の移動は確かに便利だ。しかし、そこまでの移動や宿泊ホテルとの往復を考慮すると、不便に感じるのも。

一方、今回の場合はどうだろうか。朝から晩まで、駅の通路を行ったり来たり



図6

広島県の甘日市市が興味深い。行政がアルカディアビレッジという温泉付きの会議・宿泊施設を運営。この利益で、コンクールやオーケストラなど、芸術文化音楽を育成している。

一方、徳島市はどうだろうか。駅周辺の立地条件や音楽ホール、阿波踊り会館、文化ホールなどのいろいろ帰路につく直前まで、慌

てずに学会参加が可能となる。駅で土産物をたくさん買い込み、列車に滑り込むこともできる。気分的にとても楽に感じる。

岡山、香川、広島は

筆者は学会出張が多い。今まで各都市の発展を、観察することができた。

岡山市は以前、駅からやや離れた地域でシンフォニーホールなどを開発。その

後駅周辺を整備した。

一方、高松市でも同様にテルサに加え、ショッピングモールなどを設置。引き続いて駅周辺を大きく展開させた。この手法で、両市共に広い地域をうまく発展させたようだ。

一方、高松市でも同様にテルサに加え、ショッピングモールなどを設置。引き続いて駅周辺を大きく展開させた。この手法で、両市共に広い地域をうまく発展させたようだ。



図7

な問題がみられる。ハードとソフトの面から総合的に考慮しても、様々な局面で、適切な戦略や戦術の設定が難しかったものと思われる。

シーボルトとイネ

さて、医師・博物学者のシーボルト(図8)の娘イネは、日本で最初に西洋医学を修めた女医として知られる(図9、10)。岡山市のオランダ通りにあるのが、「オランダおひね医術修行の地」。シーボルトは不朽の名著「日本」の中で、「日本

が貢献しているのかもしれない。いま、シーボルトが



図9

の貿易と経済」についても研究し、一つの論文としてまとめている。

また、シーボルトが『日本植物誌』を著した際、アジサイ属14種を新種記載。

愛するお滝さんに由来するotakusaを使用し、植物学者・牧野富太郎の議論にも発展した。このエピソードは文人作家の創作意欲を刺激したのである。

このように、岡山の医学や経済、文化の発展には、シーボルトとイネのスピリットやインスピレーション

が貢献しているのかもしれない。いま、シーボルトが静かに咲いている。(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)



図8



図10